



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月28日

上場会社名 株式会社ヒガシトゥエンティワン 上場取引所 東
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）金 森 滋 美
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）畠 秀 一（TEL）06-6945-5611（代表）
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,050	1.7	547	13.4	563	10.4	366	20.4
27年3月期第3四半期	12,837	2.8	482	3.0	510	4.8	304	10.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	30.14		—					
27年3月期第3四半期	26.48		—					

（注）平成27年3月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い1株当たり当期純利益の金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	10,775	6,957	64.6
27年3月期	10,936	6,094	55.7

（参考）自己資本 28年3月期第3四半期 6,957百万円 27年3月期 6,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,789	6.6	602	△13.1	612	△15.5	396	10.5	34.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	13,094,700株	27年3月期	11,500,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	506株	27年3月期	506株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	12,160,705株	27年3月期3Q	11,499,500株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成27年3月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済み株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融支援等を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が見られたものの、中国経済の減速や中東情勢の悪化など世界経済の不安定要因もあり、わが国経済の先行きに対しても不透明な状況が続いております。

物流業界においては、燃料調達単価は低下しましたが、人件費の上昇、価格競争の激化等依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓や、既存荷主への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実やコスト削減努力並びに安全対策にも注力してまいりました。

当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は130億50百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は5億47百万円(同13.4%増)、経常利益は5億63百万円(同10.4%増)、四半期純利益は3億66百万円(同20.4%増)となりました。

セグメントの業績は以下の通りです。なお、当第1四半期累計期間より、報告セグメントの区分を変更したことにより、対前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。新たな報告セグメント区分は「運送事業」、「倉庫事業」、「商品販売事業」、「ウエルフェア事業」、「その他」の5つとなります。

従来、当社では提供するサービスの特性から、「運送事業」、「倉庫事業」、「商品販売事業」、「その他」の4つを報告セグメントとしておりましたが、前期末から当第1四半期累計期間にかけて、福祉用具に関する販売、レンタル、運送を主たる業務とするウエルフェア事業の新規人材採用や拠点新設投資を本格化し、当社の提供する重要なサービスとして位置づけました。

これに伴い、従来「運送事業」、「商品販売事業」、「その他」に含めていた「ウエルフェア事業」を区分することと致しました。

① 運送事業

当事業につきましては、売上高は90億93百万円(前年同期比2.2%増)となり、セグメント利益は8億31百万円(同33.5%増)となりました。これは大型の事務所移転作業によるものです。

② 倉庫事業

当事業につきましては、売上高は23億95百万円(前年同期比1.5%増)となり、セグメント利益は4億14百万円(同3.2%減)となりました。

③ 商品販売事業

当事業につきましては、売上高6億88百万円(前年同期比4.0%減)となりましたが、セグメント利益は21百万円(同9.9%増)となりました。これは中古PC販売が減少し、梱包資材の販売が増加したことによるものです。

④ ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高4億9百万円(前年同期比13.5%増)となり、セグメント利益は6百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)となりました。これは新拠点開設に伴い売上高が増加したことによるものです。

⑤ その他

当事業につきましては、売上高4億62百万円(前年同期比7.2%減)となり、セグメント利益は14百万円(同34.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は107億75百万円となり、前事業年度末に比べ1億60百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、現金及び預金が増資等により6億78百万円増加し、営業未収入金が回収により7億29百万円減少いたしました。

また、負債は38億17百万円となり、前事業年度末に比べ10億24百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が支払いにより7億21百万円、長期借入金が返済により2億40百万円減少いたしました。

純資産は資本金の増加等により前事業年度末に比べ8億63百万円増加して69億57百万円となり、自己資本比率は8.9ポイント増加し64.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

①厚生年金基金解散に伴う損失の発生見込額と業績に与える影響額について

平成28年1月13日「(継続開示) 厚生年金基金解散に伴う特別損失の発生見込みに関するお知らせ」で開示の通り、同基金解散に伴う当社負担見込額3億29百万円を平成28年3月期第4四半期に特別損失として計上することを予定しておりますが、基金の資産及び負債勘定の金額が確定していないため、解散に伴う実際の負担額は変動いたします。

②平成28年3月期通期の業績予想

現時点では、厚生年金基金解散に伴う当社負担額の不確定要素もあるため、業績予想には反映せず、平成27年5月14日開示からの変更をしておりません。業績の総合的な状況を踏まえ、業績予想の修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

③平成28年3月期の期末配当金

配当予想につきましては、1株当たり8円50銭と平成27年5月14日開示の当初予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,338,889	2,017,001
受取手形	360,758	350,195
営業未収入金	2,737,112	2,007,711
商品	4,615	5,887
その他	239,284	243,816
貸倒引当金	△3,108	△2,368
流動資産合計	4,677,551	4,622,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,424,485	2,319,113
機械装置及び運搬具(純額)	106,373	93,923
土地	2,713,547	2,713,547
その他(純額)	56,849	76,274
有形固定資産合計	5,301,255	5,202,858
無形固定資産	99,811	89,019
投資その他の資産		
投資有価証券	142,992	132,745
差入保証金	605,702	619,000
前払年金費用	48,616	56,838
その他	116,419	108,580
貸倒引当金	△55,995	△55,728
投資その他の資産合計	857,736	861,435
固定資産合計	6,258,803	6,153,313
資産合計	10,936,354	10,775,557
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,703,839	982,241
短期借入金	1,240,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	308,096	273,296
未払法人税等	115,669	99,609
賞与引当金	166,552	88,284
その他	466,921	584,351
流動負債合計	4,001,079	3,277,784
固定負債		
長期借入金	494,601	289,204
役員退職慰労引当金	70,180	84,840
その他	276,278	165,863
固定負債合計	841,059	539,907
負債合計	4,842,138	3,817,691

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	927,016
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	5,628,835	5,897,554
自己株式	△116	△116
株主資本合計	6,057,819	6,920,404
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,396	37,461
評価・換算差額等合計	36,396	37,461
純資産合計	6,094,215	6,957,865
負債純資産合計	10,936,354	10,775,557

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,837,435	13,050,158
売上原価	10,673,826	10,623,856
売上総利益	2,163,609	2,426,301
販売費及び一般管理費	1,680,834	1,878,760
営業利益	482,775	547,541
営業外収益		
受取賃貸料	27,999	26,984
その他	25,897	21,624
営業外収益合計	53,896	48,608
営業外費用		
支払利息	17,106	11,903
賃貸費用	8,321	7,530
株式交付費	-	12,907
その他	484	163
営業外費用合計	25,912	32,505
経常利益	510,759	563,644
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6,596
特別利益合計	-	6,596
特別損失		
固定資産除却損	501	1,075
投資有価証券売却損	-	477
投資有価証券評価損	188	-
減損損失	9,252	-
特別損失合計	9,943	1,552
税引前四半期純利益	500,816	568,689
法人税等	196,319	202,224
四半期純利益	304,497	366,464

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社は、平成27年9月8日を払込期日とする公募増資により普通株式1,400,000株、及び同年9月16日を払込期日とする第三者割当により194,700株を発行致しました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金が593,866千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が927,016千円となっております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成27年11月27日開催の取締役会において、ユートランスシステム株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、平成27年11月27日に株式譲渡契約を締結、平成28年1月4日に当該株式を取得いたしました。

1. 株式取得の目的

ユートランスシステム株式会社は、金融機関向けATM機器の輸送・設置を中心として運送事業及び倉庫事業を展開しています。当該会社の取得は、ユートランスシステム株式会社がATM機器の輸送・設置を通じ培ってきたノウハウを吸収・融合することで、新たな分野での事業展開が可能となると判断いたしました。

2. 株式取得の相手先の名称

相手先が個人であり、守秘義務契約を締結していることから開示を控えさせていただきます。

3. 被取得企業の名称、事業内容、規模

- (1) 名称 ユートランスシステム株式会社
- (2) 事業内容 貨物自動車運送事業、倉庫事業等
- (3) 規模(平成26年12月期)

資本金	28百万円
純資産	185百万円
総資産	268百万円
売上高	357百万円

4. 株式取得の時期

平成28年1月4日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- (1) 取得株式数 56,000株
- (2) 取得価額 現金 230百万円
- (3) 取得後の持分比率(議決権比率) 100%

6. 取得資金の調達方法

自己資金により充当しております。